

Laid-open Japanese Utility Model Application H6-38765

(57) [Abstract]

[Purpose]

To provide a carpet installation device that allows laying down, replacement, etc. of carpets without damaging or staining floor surfaces.

[Configuration]

A double-sided sealing tape having a very strong horizontal adhesion and a relatively weak vertical adhesion is attached onto floor surfaces along the walls of a room in which a carpet is to be laid down, a double-sided adhesive tape is attached onto the upper surface thereof with or without a carpet adjustment plate interposed therebetween, and onto the upper surface side of this double-sided adhesive tape, the bottom side of the carpet's circumferential edge is attached, thereby installing the carpet.

No title available

Publication number: JP6038765 (U)

Publication date: 1994-05-24

Inventor(s):

Applicant(s):

Classification:

- international: **A47G27/04; A47G27/00; (IPC1-7): A47G27/04**

- European:

Application number: JP19920089467U 19921112

Priority number(s): JP19920089467U 19921112

Abstract not available for JP 6038765 (U)

Data supplied from the esp@cenet database — Worldwide

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開実用新案公報(U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平6-38765

(43)公開日 平成6年(1994)5月24日

(51)Int.Cl.⁵

A 4 7 G 27/04

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

A 7137-3K

審査請求 有 請求項の数3(全 2 頁)

(21)出願番号 実願平4-89467

(22)出願日 平成4年(1992)11月12日

(71)出願人 591130641

アスワン株式会社

大阪府大阪市西区新町3丁目5番10号

(72)考案者 深江 実

大阪府八尾市山本高安町2丁目6番12号

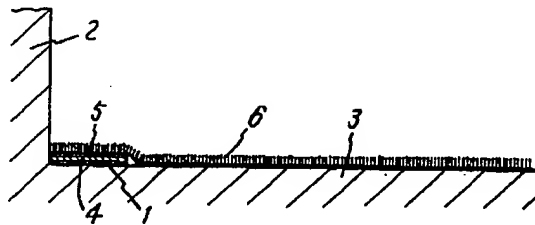
(74)代理人 弁理士 立川 登紀雄

(54)【考案の名称】 カーベットの取り付け装置

(57)【要約】

【目的】 床面を傷つけたり、汚したりすることなくカーベットの敷設、取り替え等が可能なカーベット取り付け装置を提供するものである。

【構成】 水平方向に対する密着性が非常に強力で垂直方向に対する密着性は比較的弱い両面密着テープをカーベットの敷設する室内の壁面ぎわの床面上に貼り付け、その上面にカーベット調整板を介し又は介さないで両面接着テープを貼着し、この両面接着テープの上面側にカーベットの周端縁部の裏面側を貼着させて床面上にカーベットを取り付けるようにした。



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 水平方向に対する密着性が非常に強力で垂直方向に対する密着性は比較的弱い両面密着テープがカーペットを敷設する室内の壁面ぎわの床面上に貼り付けられ、該両面密着テープの上面にカーペット調整板を介し又は介さないで両面接着テープが貼着され、この両面接着テープの上面にカーペットの周端縁部の裏面側を貼着せしめて床面上にカーペットを取り付けることを特徴とするカーペットの取り付け装置。

【請求項2】 両面密着テープの上面に貼着されるカーペット調整板は、カーペットパイル長に合わせて壁面から所定の間隔を設けて貼着されていることを特徴とする請求項1記載のカーペットの取り付け装置。

【請求項3】 カーペット調整板は、両面密着テープの壁面がわ約2分の1幅上に貼着され、残余の2分の1幅

上にはカーペットの下に敷かれるクッション材の周端縁部の裏面側が貼着されていることを特徴とする請求項1又は2記載のカーペットの取り付け装置。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案の第1実施例の主要部の断面図である。

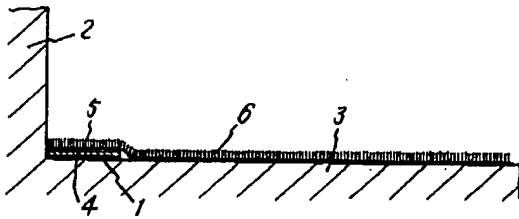
【図2】 本考案の第2実施例の主要部の断面図である。

【図3】 本考案の第3実施例の主要部の断面図である。

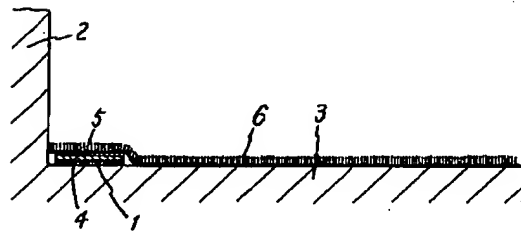
【符号の説明】

- 1 両面密着テープ
- 2 壁面
- 3 床面
- 4 カーペット調整板
- 5 両面接着テープ
- 6 カーペット
- 7 クッション材

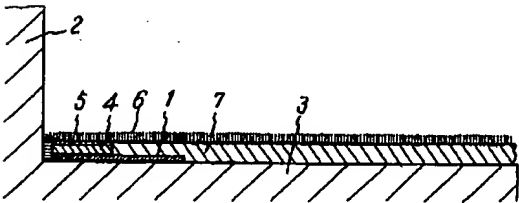
【図1】



【図2】



【図3】



【考案の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】

本考案は建物の室内に敷設されるカーベットの取り付け装置に関するものである。

【0002】

【従来技術】

室内の床面上にカーベットの敷設するにはカーベットの裏面側全面にのりをつけて床面上に固定する所謂ベタ貼工法、両面接着テープを利用して床面上に固定する方法あるいは壁面に沿う床面上に、カーベットの補捉するクリップを有する添木を打ちつけるクリッパー工法等の手段が採られていた。

【0003】

【考案が解決しようとする問題点】

前記カーベットの裏面にのりをつけて床面上に貼り付ける方法による場合は床面に対する固定は大変良好ではあるが貼着が強固であるのでカーベットを取り替えようとするとき、取り外しに大変手数がかかると共に無理に剥がそうとするとカーベット及び床面を破損してしまうことがあり、また床面に付着残存するのりを除去するにも大変手数がかかっていた。また、両面接着テープによる場合も、カーベットを移動させたり、取り替えようとするときに床面上に接着テープの一部が付着残存して床面を汚すほかその除去に手数を要するという問題点があった。更にクリッパー工法の場合は、寄木、木質フローリング等の床面を傷付け、大理石、プラスチックタイル等の場合は施工不可能であった。

【0004】

本考案は床面が平滑であれば、木質、プラスチック、大理石等の材質のいかんを問わず、床面を傷ついたり、汚したりすることなくカーベットの敷き込み、取り替え等を行い得るカーベットの取り付け装置を提供するものである。

【0005】

【問題点を解決するための手段】

本考案は、水平方向に対する密着性が非常に強力に垂直方向に対する密着性は

比較的弱い両面密着テープを床面に貼りつけることによって上記問題点を解決したものである。即ち、水平方向に対する密着性が非常に強力であるが垂直方向に対する密着性は比較的弱い両面密着テープをカーペットを敷設する室内の壁面ぎわの床面上に貼り付け、該両面密着テープの上面にカーペット調整板を介し又は介さないで両面接着テープを貼着し、その両面接着テープ上にカーペットの周端縁部の裏面側を接着せしめることによって床面上にカーペットを取り付けるようにしたものである。

【0006】

【作用】

本考案は上記の如く構成されているので床面上に貼着されている両面密着テープは水平方向に対する密着性が非常に強力であるからカーペットの横ずれ移動を阻止する。また、垂直方向に対する密着性は弱いので、カーペットの取りかえ、変更のときにカーペットを剥がしやすく、しかもカーペットを剥がしたあとの床面に両面密着テープの残存付着はない。また、カーペット調整板と壁面との間にカーペットのバイル長に見合う隙間を設けたものにおいては、カーペットの周端縁部を折り曲げて押し込むとカーペットの周端縁部の敷設仕上り状態が良好に維持される。更に、カーペットの下面にクッション材が配されたものにあつてはクッション性が良く、カーペットとクッション材とが個別に移動することがない。

【0007】

【実施例】

本考案の実施例を示した図1にもとづいて説明すると、建物の室内の壁面2ぎわの床面3上に、水平方向には密着性が非常に強力であるが垂直方向に対する密着性は比較的弱い両面密着テープ1が40mm～50mm幅に亘って貼着されている。この両面密着テープ1を貼り付ける床面は、表面がフラットな木質フローリング、プラスチックタイル、寄木、大理石等でザラツキのない硬質床材が好ましい。そして、この両面密着テープ1上にカーペット調整板4を貼着し、そのカーペット調整板4の上面に両面接着テープ5を貼着し、その両面接着テープ5上にカーペット6の周端縁部の裏面側を接着して床面上にカーペット6を敷込んでいる。

【0008】

カーペットパイル長が短かい薄手のカーペットの場合には図示省略したが、前記カーペット調整板4を使用することなく両面密着テープ1上に両面接着テープ5を直接貼着するようにしてもよい。

【0009】

また、図2に示す第2実施例の如く、両面密着テープ1上に貼着のカーペット調整板4を、カーペットパイル長に合わせて壁面2から所定の間隔を設けて貼着することによって、カーペット6の周端縁部を該隙間に折り曲げて挿入させることができる。

【0010】

更に、図3に示す第3実施例の如く、両面密着テープ1の壁面2よりの2分の1幅上にカーペット調整板4を貼着して、カーペット調整板4が貼着されていない残り2分の1幅上の両面密着テープ1に、カーペットのクッション性を良好とするために敷かれるクッション材7の周端縁部を貼着してもよい。

【0011】

尚上記両面密着テープ1の密着力は、アクリル樹脂タイルに対して水平方向の密着力が2.9kg～4.2kg、垂直方向に対する密着力が150g～210gある市販のものを使用した。

【0012】

【考案の効果】

本考案はカーペットを敷設する室内の壁面よりの床面上に、水平方向に対する密着性は非常に強力であるが垂直方向に対する密着性は比較的弱い両面密着テープを使用したので、その床面上に敷かれるカーペットやカーペットの下に敷かれるクッション材の床面に沿う水平方向の横ずれ移動を阻止し、良好なカーペット敷設状態をいつまでも保持することができる。

【0013】

また、垂直方向に対する密着性は比較的弱いため、カーペットを敷き替えたり、移動させたりするために、これを床面から剥がそうとするときは、たやすく剥がすことができる。しかも、剥がした時、床面に該両面密着テープが残存付着す

(6)

実開平6-38765

ることがないので床面を汚したり傷つけたりすることがない。